

Changing the culture ―組織はどのように変革するのか

日 時	2026年9月11日(金) 9:00 ～ 10:00
会 場	第4会場（4F 国際会議室（マリンホール））
座 長	大谷 哲也（新潟市民病院）

[1-EL1-1]

Changing the culture ―組織はどのように変革するのか

磯部 真倫

岐阜大学 産科婦人科

この講演のポイント

- 骨粗鬆症診療の課題は知識やガイドラインの不足ではなく、それらを日常診療へ定着させる「組織づくり」にある
- John P. Kotter の8段階の変革プロセスを基盤に、危機意識の共有からビジョン共有、短期成果の創出、文化への定着までを岐阜大学の実践例とともに考察
- 管理職だけでなく専門職一人ひとりが現場で発揮する「分散型リーダーシップ」、心理的安全性、多職種が相互に学び合う教育環境づくり
- Senge「学習する組織」・Schein の組織文化論・Adler の共同体感覚を交え、「人を変える」のではなく「組織が自然と変わる仕組み」をデザインする

抄録要旨

医師・看護師・薬剤師・リハビリテーション専門職が高い専門性をもっている、共通のビジョンや役割認識がなければ骨折予防という共通目標は達成できない。本講演では組織変革の理論を骨粗鬆症診療に応用する視点を提示する。診療の質向上には優れた医療者を育成するだけでは十分ではなく、多職種が共通の目的を共有し自律的に学び続ける組織文化を醸成することが重要である。教育学・組織論・リーダーシップ研究の知見を融合し、明日から実践できるチーム変革の視点を提供する。